



## トヨタモーターノースアメリカ、検索エンジンレベルのインテリジェンスをもたらす Cerence Browseを自動車メーカーとして初採用

December 22, 2021

~Cerence Browseにより、ドライバーはリアルタイムに様々なAIを活用した

オンライン情報にアクセスが可能~

自動車業界向けにAI技術を提供する[Cerence Inc.](#)（以下セレンス）は、トヨタモーターノースアメリカ（以下TMNA）がセレンスのAIを活用したクラウドベースの[Cerence Browse](#)（セレンスブラウザ）を採用し、トヨタとレクサス\*の[次世代マルチメディアシステム](#)にインターネット検索エンジンのパワーとインテリジェンス機能を搭載することを発表しました。TMNAは、セレンスの新しいクラウドサービスを導入した最初の自動車メーカーです。

*\*新車の購入またはリース時に、特定の機能の無償試用期間が含まれます。試用期間後も特定の機能を利用し続ける場合は登録が必要です（該当する場合）。*

Cerence Browseにより、トヨタとレクサスの乗客は、地理データ、株式情報、天気、天文、レジャー、通貨、政治、食やグルメ、有名人、ニュースイベントなどの一般的な情報を含め、リアルタイムに様々な情報への問い合わせが可能となります。以前の音声ソリューションでは、天気の確認、道順の取得、レストランの検索など、主に運転や旅行に関する問い合わせが目的とされていましたが、Cerence Browseでは、さらに新しいレベルの包括的な情報検索をリアルタイムにもたらし、TMNAが提供する車内体験をさらに広げます。

トヨタモーターノースアメリカ コネクテッドテクノロジーズのバイスプレジデント兼エグゼクティブチーフエンジニア、チャラン・ロタ(Charan Lota)氏は次のように述べています。「トヨタとレクサスのお客様は、日常生活をより便利で生産的にする革新的でインテリジェントな車内体験に大変注目しています。私たちは、Cerence Browseを導入して、他のスマートホームやモバイル音声アシスタントで利用する情報に、外出先からでもアクセスを可能にする最初の自動車メーカーになることを誇りに思います。新しい2022レクサスNXおよび2022トヨタタンドラモデルの購入者は、この素晴らしい機能の最初の体験者になるでしょう」

Cerence Browseは、リアルタイムに情報をスキャンして意味を抽出する機械読解AIを活用して「スペースニードル（米国シアトル市にある展望台）について教えて」や「スペースニードルの高さは？」など、一般的なユーザーの質問に対してまるで人間が話すのと同じように可能な限り最良の回答を返します。

セレンスのCEOステファン・オルトマンは次のように述べています。「Cerence Browseは、自動車メーカーが質問に対する人間のような独自の応答を可能にする、素晴らしい深層推論ネットワーク(Deep Reasoning Network)技術です。Cerence Browseを導入することで、トヨタは、ユーザーのエンゲージメントと満足度の向上、そして車内での音声アシスタントの全体的な使用の増加を期待できます」

Cerence Browseの詳細については、[こちらのビデオ](#)をご覧ください。セレンスの詳細については、[www.cerence.com](#)をご覧ください。当社の最新情報については公式[LinkedIn](#) および[Twitter](#)からもご覧いただけます。

### 【セレンスについて】

セレンス(Cerence Inc.)は、自動車を含むコネクテッドモビリティの世界へ独自のソリューションを提供し、感動的なユーザー体験を創出するグローバルリーダーです。世界をリードする自動車メーカーとモビリティOEMのイノベーションパートナーと提携し、自動車/二輪車さらにはエレベーターや消費者のデジタルライフにいたるまで、直感的でパワフルなインタラクションを実現し、コネクテッドワールドの発展に寄与します。20年にわたる知見と4億台以上も

の自動車への採用実績を有する当社は、コネクテッドカー、自動運転、EV、スマートビルディングのロードマップに明確なビジョンを持っています。詳細については、[www.cerence.com](http://www.cerence.com)をご覧ください。